

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第29号—

令和2年11月16日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

校内マラソン大会

11日(水)に校内マラソン大会を実施しました。マラソンは人との競走だけでなく、自分との競走です。マラソンは、きつくて、つらいものです。そのきつくてつらい時こそ、自分の力が伸びるときです。マラソンは、体だけでなく心もたくましく成長させます。きつくてつらい時、もうやめたいとあきらめたくなる時こそ、自分の根っこが伸びている時です。勝って喜ぶことも、負けて悔しがること、これからの子供たちの人生にとって、きっと肥やしになるはずです。



<1年生>	1位	藤川 来希	3分24秒
	2位	松山 敦志	3分30秒
	3位	橋口 奏心	3分32秒
<2年生>	1位	江川 空	3分18秒
	2位	橋口 和心	3分22秒
	3位	吉永 大翔	3分36秒
<3年生>	1位	青崎 陽仁	4分22秒
	2位	吉永悠之伸	4分30秒
	3位	安村 優輝	4分38秒
<4年生>	1位	江川璃瑠斗	4分03秒
	2位	山口 翔大	4分25秒
	3位	井上 旺甫	4分28秒
<5年生>	1位	大村 美夏	5分29秒
	2位	柴山 英士	5分33秒
	3位	吉永皓太朗	5分50秒
<6年生>	1位	浜本 鉄舟	5分23秒
	2位	西宮 陽汰	5分57秒
	3位	久田 夕雅	5分57秒

フラワーロード作戦

12日(木)に2回目のフラワーロード作戦を行いました。今回も更生保護女性会の皆様にお手伝いいただき、パンジーとビオラの苗を植えました。これから春先にかけて学校前の道路を彩ってくれることと思います。植物を育てることは、貴重な経験になると思います。きちんと世話をしなければ枯れてしまいます。命あるものの世話をしていることを自覚して、責任をもって取り組んでほしいと思います。それが、自らの心を育てることにもつながると思うからです。



児童虐待防止推進月間

11月は児童虐待防止推進月間です。児童虐待根絶に向けて、地域全体で子供たちを見守り育てることが求められています。この推進月間に合わせて、文部科学大臣から家庭・学校・地域の皆様に対して、メッセージが出されましたので、ご一読ください。

裏もごらんください。

保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数が増加するなど、依然として極めて深刻な状況です。今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、生活不安やストレス等に伴い、児童虐待のリスクが高まることも懸念されています。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

虐待は、殴る、蹴るといった身体的虐待だけではなく、言葉で脅す、無視するなどの心理的虐待、子供を残して外出する、自動車の中に放置する、食事を与えないなどのネグレクトや性的虐待もあります。いずれも子供たちの心身に深い傷を残します。

保護者の皆さま、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。子育てに不安や悩みがある時には、身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

地域で子供たちと接する皆さま、是非、子供たちの様子に関心を持って見守ってください。日々の活動やつながりの中で児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」（“いちはやく”）に相談・通告してください。

児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てることが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和2年11月
文部科学大臣

萩生田 光一